

2018年7月19日

- 簡単操作で豊富なトレーニング機能が楽しめるエントリーモデル

ヤマハ エレクトロニックドラム

DTX
drums

『DTX402KS』 『DTX432KS』 『DTX452KS』

- クラスを超えリアルで上質なドラムサウンドを実現 7月26日(木)発売 -



<ヤマハ エレクトロニックドラム『DTX452KS』>

ヤマハ株式会社は、電子ドラムの新製品としてヤマハ エレクトロニックドラム DTX drums(ディーティーエックス ドラムス)402 シリーズ『DTX402KS』、『DTX432KS』、『DTX452KS』を7月26日(木)に発売します。

<価格と発売日>

品名	品番	価格(税抜)	発売日
ヤマハ エレクトロニックドラム	DTX402KS	オープンプライス	7月26日(木)
	DTX432KS	オープンプライス	
	DTX432KUPGS	オープンプライス	
	DTX452KS	オープンプライス	
	DTX452KUPGS	オープンプライス	
ヤマハ エレクトロニックドラム用 追加シンバル	PCY95AT	8,000円	

◎初年度販売予定数：合計1,500セット

<製品の概要>

当社は、1967年からアコースティックドラムの販売を開始し、常に一線で活躍する厳しいプレイヤーの意見や要求を反映した商品開発を行ってきました。電子ドラムとしては1986年にアコースティックドラムと同様の奏法でMIDI音源(電子楽器)の演奏を可能にした「PMC1」を発売、1996年には家庭でのドラム練習を可能にした「DTX」シリーズ、2012年9月にはエントリーモデル「DTX400K」、 「DTX430K」を発売しご好評を頂いています。

今回発売する『DTX402KS』、『DTX432KS』、『DTX452KS』は、トレーニング機能が充実し手軽にドラム演奏を楽しむことができるエントリークラスでありながら、リアルで上質なドラムサウンドを実現したモデルです。『DTX432KS』、『DTX452KS』は、上位モデルと同じキックパッドとハイハットコントロールペダルを採用しており、リアルな演奏を楽しむことができます。『DTX402KS』は、新開発の静粛性が高いキックユニットとハイハットコントロールペダルを採用し、日本の住環境に適したコンパクトなモデルです。さらに、USB端子を備えており、無料アプリとの連携による直観的なトレーニングや、サウンドエディット、演奏動画の作成などが可能となります。

詳細は以下の通りです。

<主な特長>

1. リアルで上質なドラムサウンドを実現

DTX402シリーズの音源は本物のヤマハドラムをステレオサンプリングしており、リアルで上質なドラムサウンドを忠実に再現します。アコースティックサウンドだけでなく、エフェクトサウンド、エレクトロニックサウンドなど、叩きたい曲にマッチする10種のドラムキットを搭載しています。



<ドラムトリガーモジュール>



<アコースティックドラムのサウンドをリアルに再現>

2. ドラムの本質を大切にしたいキットデザイン

シンバル、スネア、タムは好みの位置と角度に調整ができるため正しいフォームで演奏を楽しめます。また、新採用のラックによりキットの安定性が増したほか、高低のセッティング幅も広がり、お子様にもお楽しみいただけます。また、叩き心地を追求して開発したタムパッドは、静粛性と演奏性の両立を実現しました。



<コンパクトに収納可能>



<アコースティックドラムに近いセッティングが可能>

3. 楽しみながらドラムスキルを習得できるトレーニング機能

電子ドラムだからこそ実現できる練習機能を 10 種類搭載。初心者でも徐々に叩けるようになる、内蔵練習曲の演奏を学ぶ「ソングパートゲート」、ドラムの基礎となる正確なリズム感を鍛える「リズムゲート機能」、自分のストロークの速さを計ることのできる「ファストブラスト機能」などがあります。客観的に技術力を判断できる採点機能もあり、楽しみながらドラマーとしての表現力を高めるサポート機能が充実しています。



<ヘッドフォンを使ったトレーニングに最適>

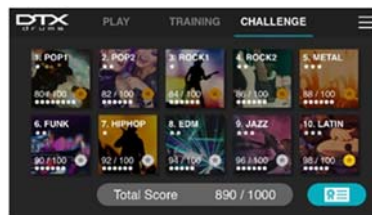
4. 無料アプリとの連携による、直感的な操作と高い拡張性

iOS/Android 対応アプリ DTX402 Touch を使えば、スマートデバイスの画面でトレーニング機能やサウンドエディット機能をより直感的に操作可能となります。内蔵練習曲の譜面を表示したり、トレーニングの採点結果をパッドごとに確認したり、アプリならではの様々な拡張機能をお楽しみ頂けます。「チャレンジモード」機能を活用すれば、内蔵練習曲を使ってゲーム感覚でドラム演奏を習得することが出来ます。最後まで到達した方にはヤマハから SNS などで共有可能なドラマー認定証を贈呈いたします。

また、iOS アプリ「Rec' n' Share」(レックンシェア)をご用意。ライブラリーからお気に入りの楽曲を選択すれば、アプリが自動でテンポを検出し、クリックを付加します。テンポ変更、リピート再生機能も搭載し、ドラムの練習を強力にサポートします。iOS 端末でアプリを使用して動画を撮影すれば、DTX402 シリーズの演奏動画が手軽に作成可能です。楽器と楽曲の音量バランス調整などの簡易編集、アップロードまでをアプリの中で行うことが出来ます。



<DTX402 Touch との連携>



<10 種類の音楽ジャンル>



<SNS などで共有可能な認定証>

<主な仕様>

■セット構成

セット名	DTX 402KS	DTX 432KS	DTX 432KUPGS	DTX 452KS	DTX 452KUPGS
スネア	○	○	○		
スネア(3ゾーン)				○	○
タム1、タム2、フロアタム	○	○	○	○	○
キックユニット(KU100)	○				
キックパッド(KP65)		○	○	○	○
フットペダル(FP6110A)		○	○	○	○
ハイハット/クラッシュ/ ライドシンバル	○	○	○	○	○
ハイハットコントローラー(HH40) ※オープン/クローズ/ フットスブラッシュ対応	○				
ハイハットコントローラー(HH65) ※オープン/ハーフオープン/ クローズ/フットスブラッシュ対応		○	○	○	○
追加シンバル(PCY95AT)			○		○



<追加シンバル(PCY95AT)>

■ドラムトリガーマジュール 主な仕様

音源部	音源方式	AWM2
	最大同時発音数	64音
	音色数	ドラム、パーカッション：287音色、キーボード：128音色
	ドラムキット数	10
	ソング数	10
	トレーニングモード	10
	リバーブ	9タイプ
メトロノーム	テンポ	30~300、(タップテンポ機能、ボイスガイド機能)
	ビート	1/4~9/4
その他	接続端子	SNARE(ステレオミニフォン端子)、 TOM1(モノラルミニフォン端子)、 TOM2(モノラルミニフォン端子)、 TOM3(モノラルミニフォン端子)、 RIDE(モノラルミニフォン端子)、 CRASH(ステレオミニフォン端子)、 HI-HAT(モノラルミニフォン端子)、 HI-HAT CTL(ステレオミニフォン端子)、 KICK/PAD(ステレオミニフォン端子)、 USB TO HOST、AUX IN(ステレオミニ端子)、 PHONES/OUTPUT(ステレオ標準フォン端子)
	消費電力	5 W
	電源アダプター	PA-3C または同等のヤマハ推奨品
	寸法、重量	269(W)×147(D)×39(H)mm、0.5kg



<ヤマハ エレクトロニックドラム『DTX402KS』>



<ヤマハ エレクトロニックドラム『DTX432KS』>

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部

メディアリレーショングループ 担当：今井

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/
(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン お客様コミュニケーションセンター

ギター・ドラムご相談窓口

TEL 0570-056-808

(ナビダイヤル、全国どこからでも市内通話料金)